故實圖集

一

848
96

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

此蠻繪者滋野井中納言公麗卿賀茂祭使之日隨身ノ褐衣ニ付ラレシ文也後ニ橋嘉樹ヘ賜リシヲ模寫スル者也白布ニ紙ニテ裏ヲ
帝國圖書館藏
キテ文ヲ切抜テ褐衣ニ縫付ルナリ褐衣ハ布ニ用

貞丈云左近府ハ獅子形右近府ハ熊形也野宮中納言定基卿曰蠻繪本ハ盤繪ト書ノ盤ノ字メクルノ義アリ物ノ形ヲメグラシテ圓ク画ク也蠻ハ只字音ヲ借リ用ル也貞丈按古書ニ笘ノ蒔繪ナドニモ蠻ヲ用ルアリ草木ノ花葉鳥獣類ナトヲ其形ヲ圓ニメグラシテ画クヲ云ナリ

天明四年甲辰二月十一日　伊勢平藏貞丈書

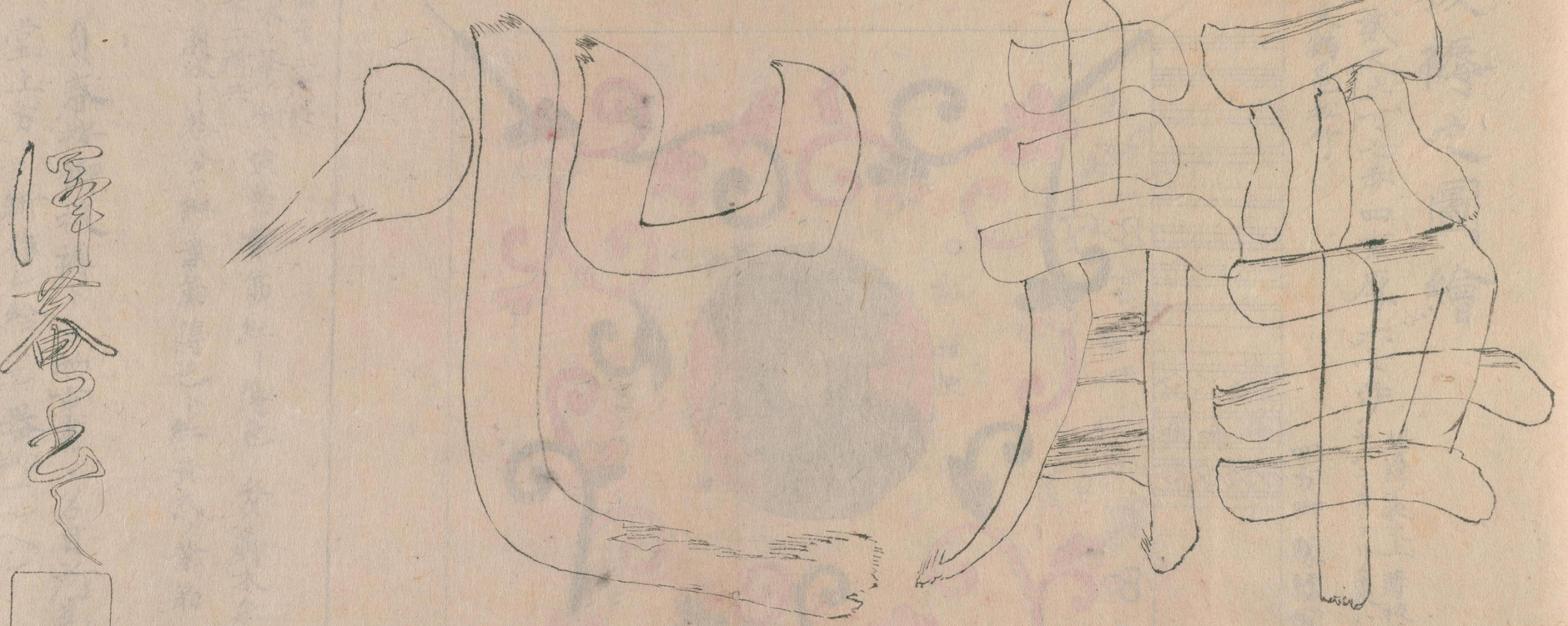
今井俊太郎氏寄贈本

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

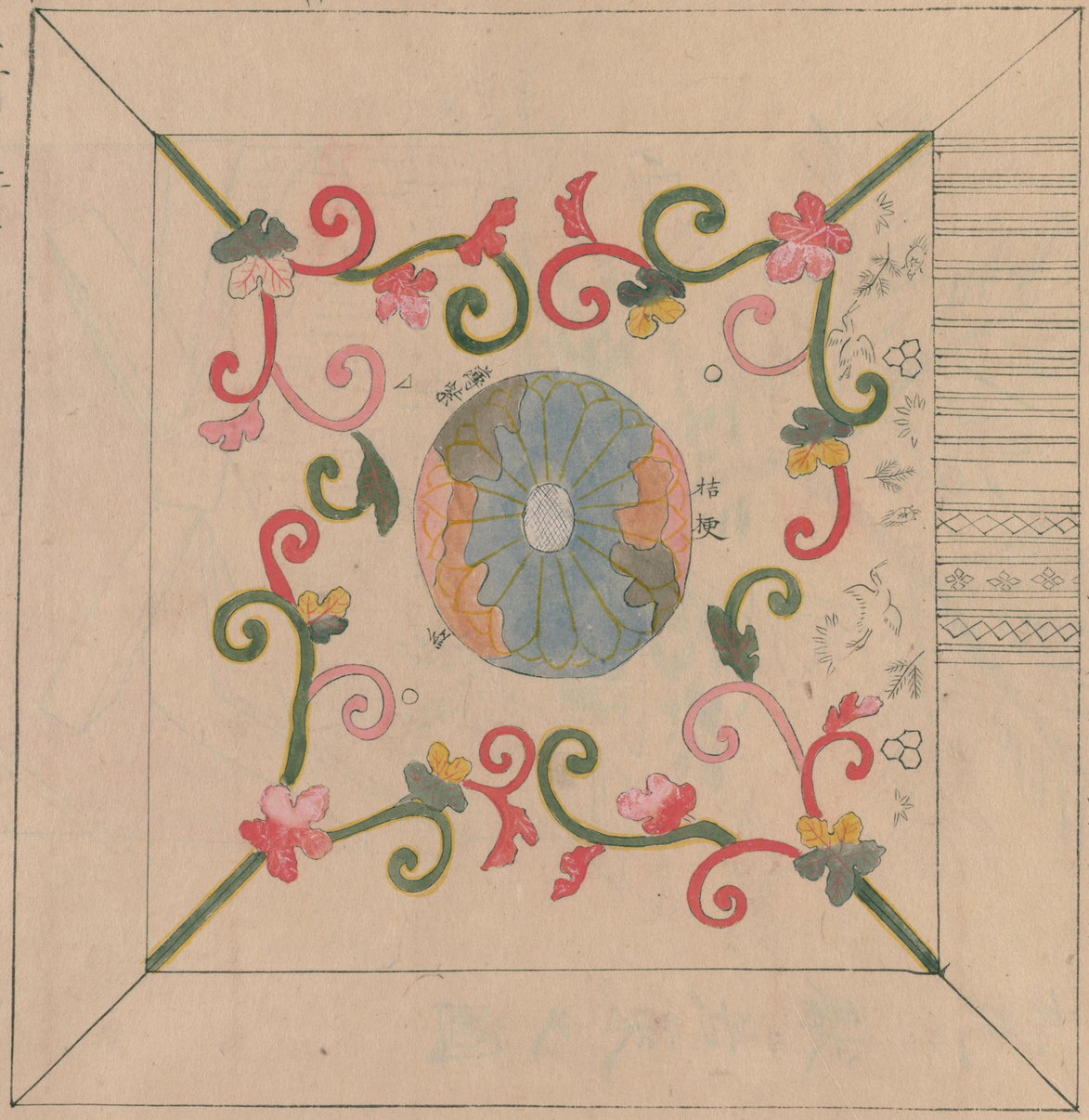
ガラス使用

御袷褥之圖繪

大廿貳尺六寸七歩四方厚六七歩　但疊ノ表之上ニ薄袷ナド入鏡地ノ方ニウノメヲ入レテヤハラカニアリ裏ハ紅ノ生絹

鏡地白綾織文鶴亀松竹

四方御縁綟綃也織物鏡ニ出ル



菊御紋ノ縫目中ノ重菊ハ紋地アサキ上下ノ御紋菊ハ上下共ニ薄紫桔梗紅菊唐草ノ葉ハ金糸ニ彩色ノ通リフセ処モ有リ

ウセン金糸ナリ

△三角ノ内ニ所共

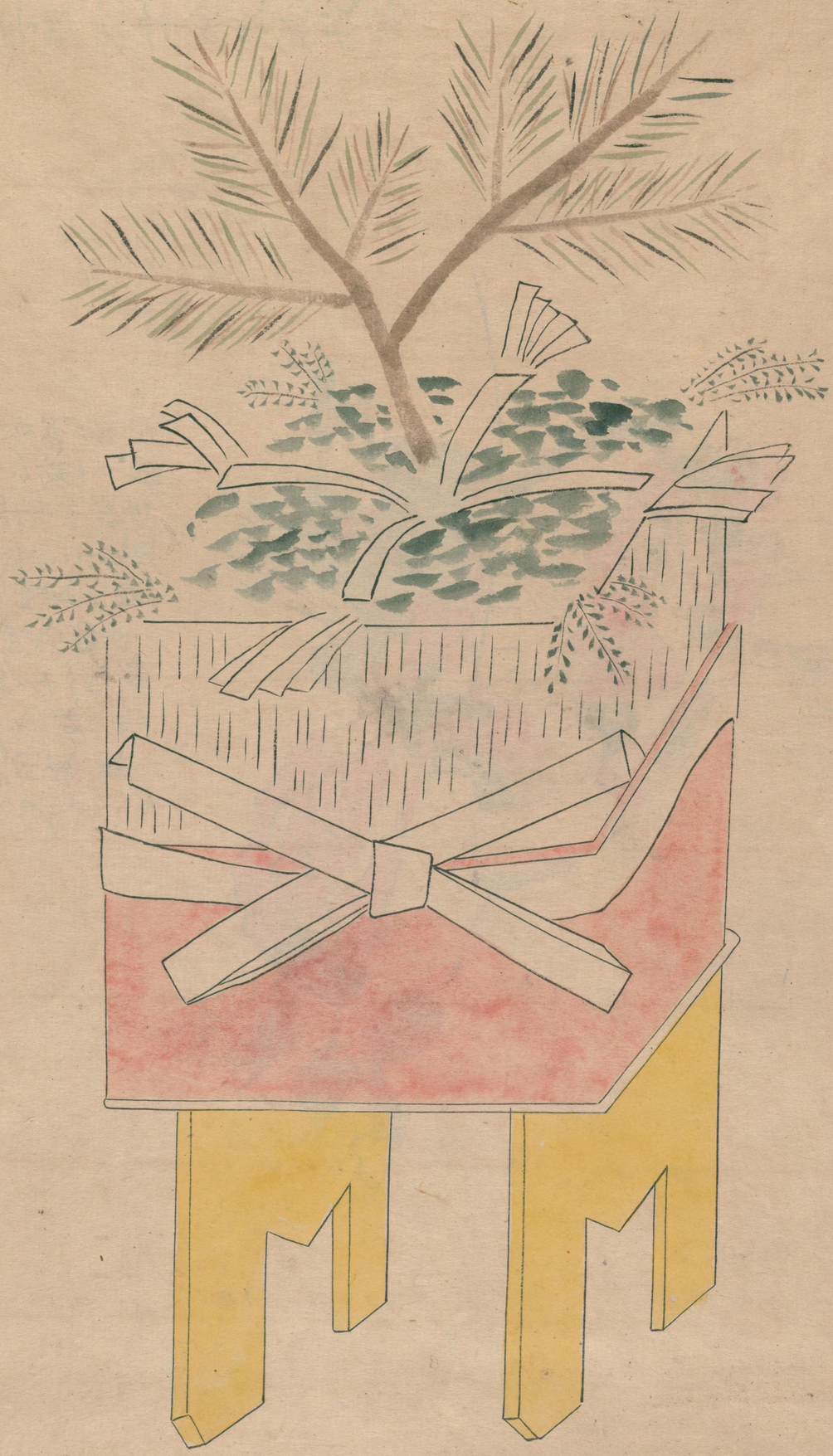
崩木ト茶ノ分ハ黄糸ノ葉筋紅ト薄色ノ分ハ崩木糸ト葉筋

○九ノ内ニ所共

葉ノ崩木ト茶分ハ紅ノ葉筋薄色ト紅ハ黄糸ノ葉筋

負春按御袷褥ト云物古書ニ名目所見ナシ是後代之堂上方ニテ新作シ給ヒシ器物ナルヘシ

毎歳松尾ヨリ獻ル若菜之圖



国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

宇佐行幸繪巻物拔寫

是等皆胡籙ニ間塞カケシ躰ナリ信スヘキ画ナルニヤ住吉法眼ノ画キシ小芝垣トニヘル繪巻物賀茂祭繪巻物等ニ此図ノ如ノナル形ノ間塞ヲカケシ躰ヲ画カケリ此間塞ハ革ニテ造リタルナルヘシ

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

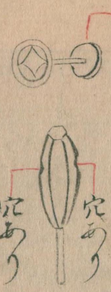
渕醉ニ語ヲ前ヘハサム
舞妓之奉リ久ル榊色ヲ公卿ニ授賜ト云

天明四年三月十日写之

酒井忠理

ぶりく〳〵ぎちやうの図

木ニテ作ル大サ如図



右の号の如くぶりくをぬきとうくるべし一人にて一方をもち一人にぶりくをもちまつすぐにひきとうくるなり

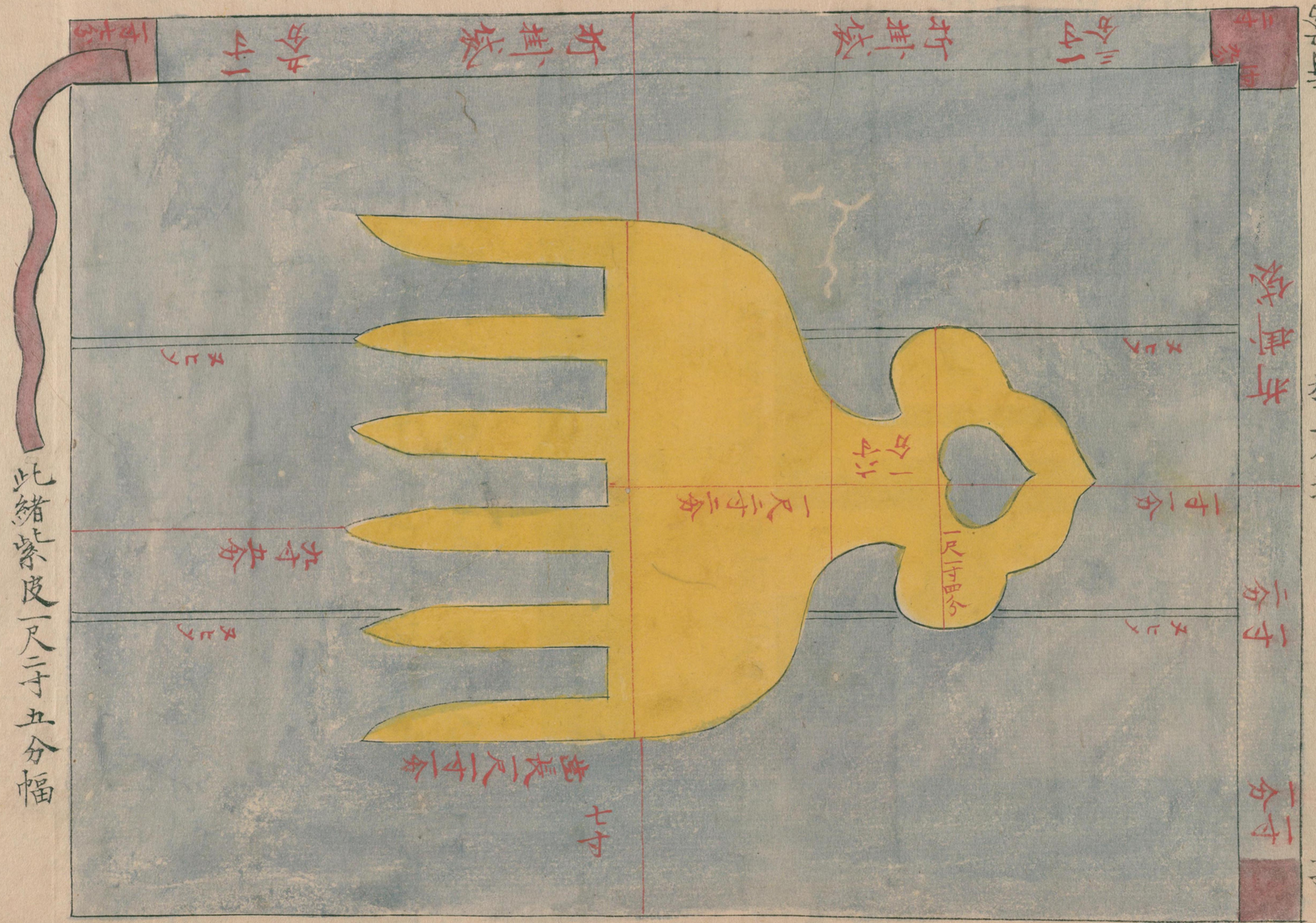
ぎちやうをあげおろすまゝの事なり

一右の号のぶりくをぬきとうくるは風のつよき時のことなり風のつよきときはぶりくをぬきとりぎちやうのみをあげおろすな

高木甚太郎元直家藏

今川義元馬驗圖

治部少輔從五位下永祿三年五月討死
永正大永享祿天文弘治永祿比之人也



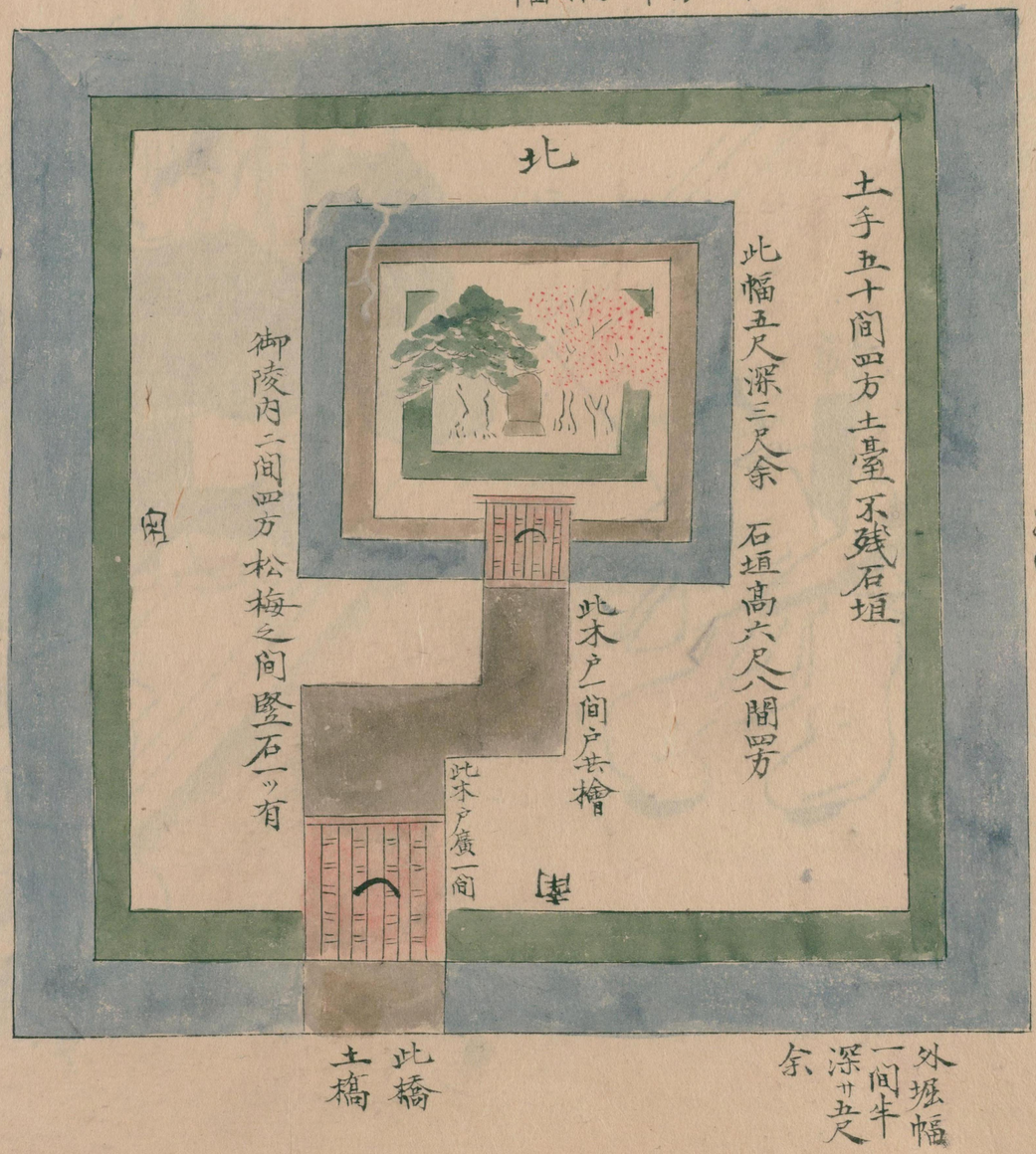
横三尺許

此緒紫皮一尺二寸五分幅

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

順徳院陵
在佐渡國
真野村方
言曰帝御
廟別當雜
太郡真福
寺

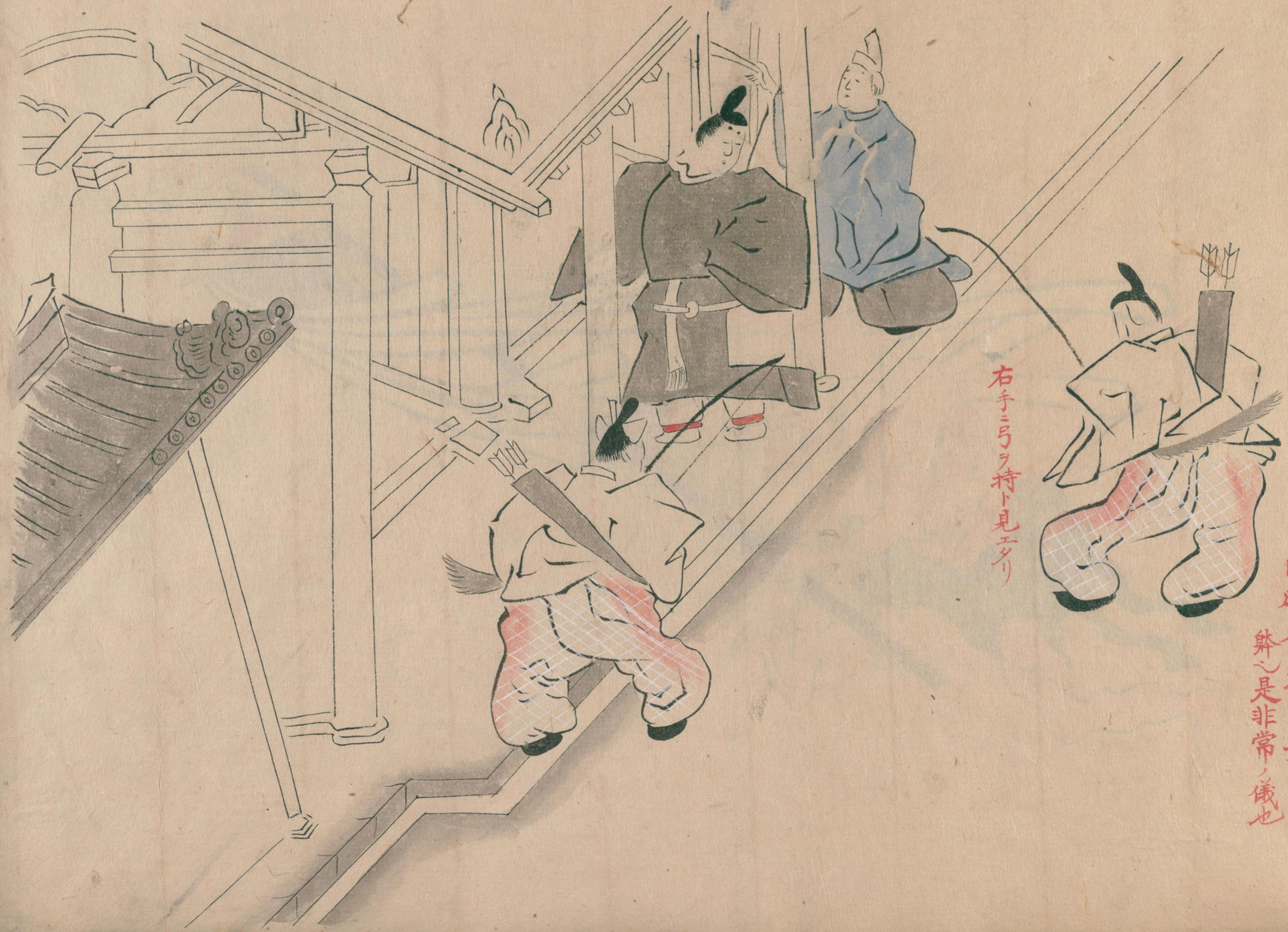


人皇八十四代御諱守成寶等二十四而兼久三年七月廿日依
鎌倉指揮當國迁御二十二年之後仁治三年秋月十二日於當國
九條殿へ被遣候

御製

おそろしきかな雲の上ゝてしらるゝ神の
あらたなるかな

古画拔書



右手ニ弓ヲ持ト見エタリ

辰方曰
アミ袴出所未考
脚腰尻ヲ右ヘトリ前ヘハサミタル
躰ヘ是非常ノ儀也

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

土佐光信画百鬼夜行繪

馬上沓化物

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

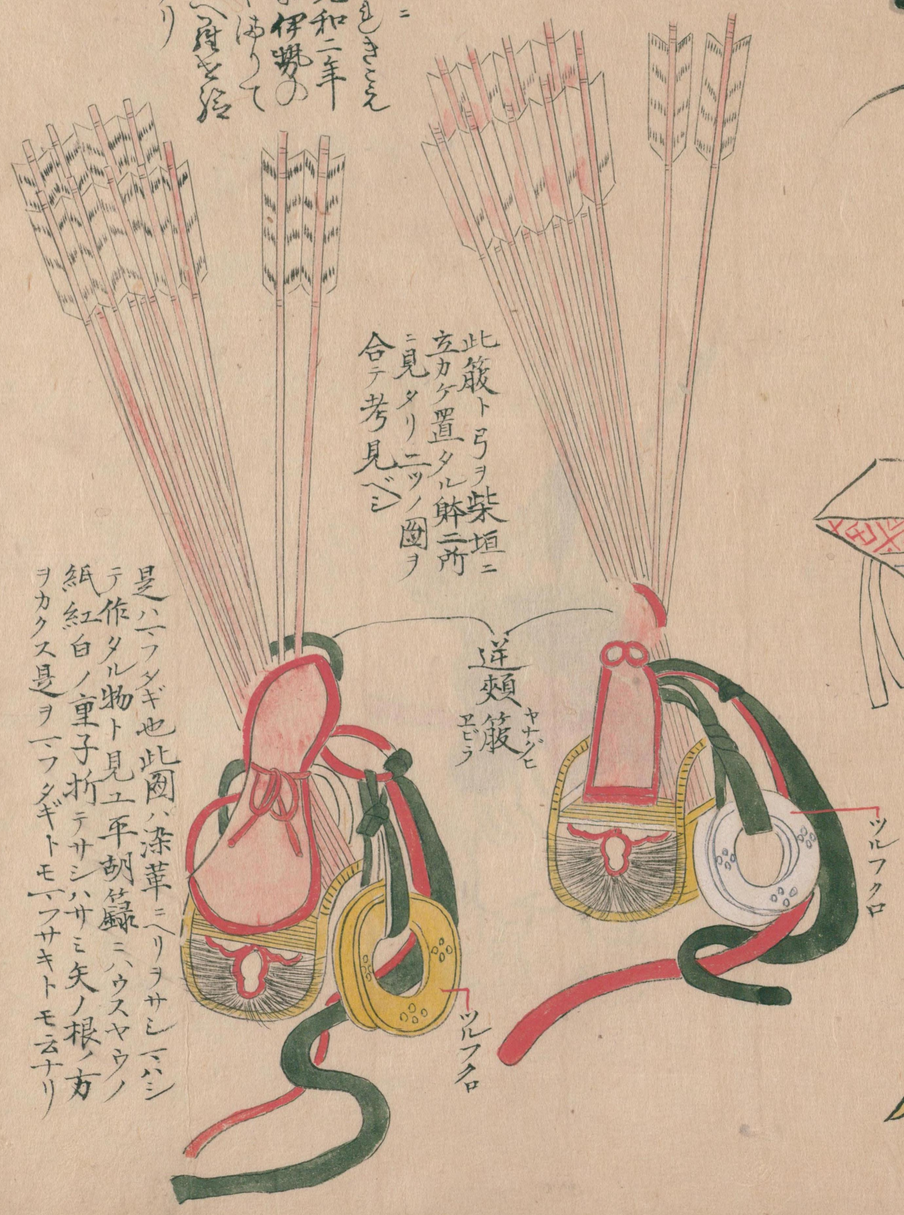
ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

古画巻物写

此巻物前巻失テ後巻ノミ一巻アリ好色ノ段ヲ書タル物語也題号ハ詳ナラス筆者モ詳ナラス古キ物ナリ

明和八年辛卯三月四日写

右ノ巻物ノ終ニ
左の年世よりもきこえ
ありあるよ寛和二年
六月十九日よ伊勢の
山くまりそほりて
世之人うかへ度を給
にまかりとアリ



是ハフタギ也此図ハ深革ニヘリヲサシマハシテ作タル物ト見エ平胡籙ニハウスヤウノ紙紅白ノ重子折テサシハサミ矢ノ根ノ方ヲカクス是ヲ一フタギトモ一フサキトモ云ナリ

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

ウトウ圖　ウトウヒモウトフヒモ　ウタフヒモ書クハ假名遣詳ナラス

文字永詳俗用善知鳥三字

夫木抄　定家卿

みちのくの
そとものうみの
なくあはびの
うとうやもとり

出羽陸奥國平都濱ニあり　毎砂土の中ニ穴をうがちて隠れ
うとうとよぶ聲ニ驚きて穴より出る　猟人ハ此ものを捕
とて　此の中より出る血を以て網を染　此血人の身ニかゝれハ
血の烟を流をもの血人ニ捕らるゝ也　まゝ
養老をそそぐよりて　雁の事ありて云ふ　諺也　或説ようとうとう
を今かしようとうとうの　うとうのくひもの　あとり　天明二年甲辰三月十二日

右の圖ハ　伊勢平藤貞文書

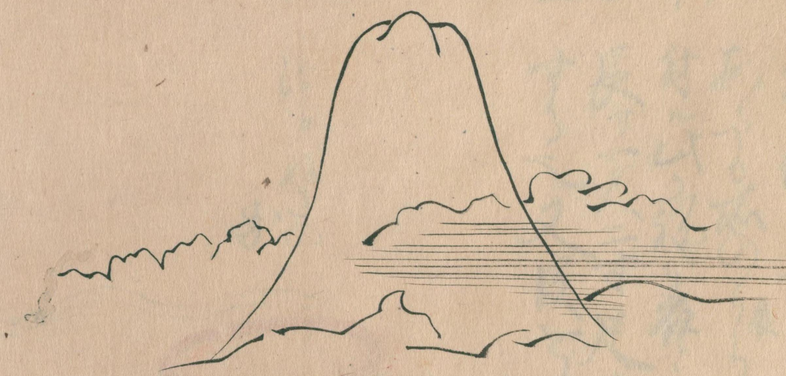
国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

南都招提寺繪傳記　永仁六年八月日
極樂律寺住持沙門思性

此圖繪殿頭積與自筆也
寛政七年卯冬

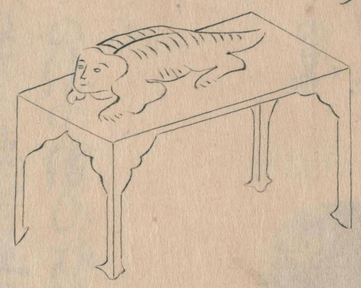
国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

和州法隆寺繪堂



秦致真ノ画ト世ロ傳テ云

從摂津國所獻
人魚御覽



天明二八十　伊勢平藏貞丈写

勤思堂村井敬義藏

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

一 はゝぬきの事 又はゝぶぬきとも云 毛皮の事也 熊の毛皮 大将 虎ノ皮卒人ハ熊ノ皮ヲ用ユ 又牛ノ皮アサラシノ皮ヲモ用ユルナリ

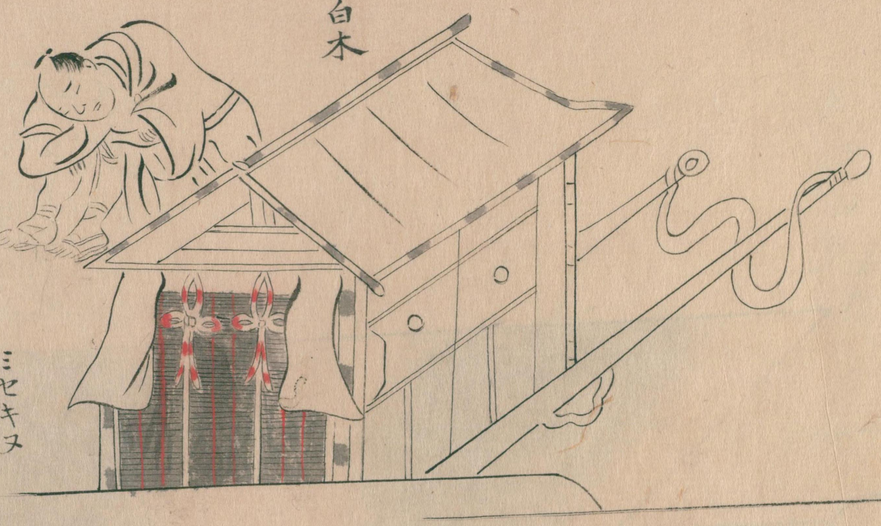
あつらゆる所のうら(裏)を墜(メテ)細さ狭の筋ともとこゝろてとぢ有ルゆゑ表裏の間ありもと入さるもよしはゝぬきの長サ一尺二寸足の中こゝもとひうけの緒をつけ一尋ほどの又皮をも用ゆ

一 つゝぬきの緒の結ひ様を前へとりあしらゞへ表方の緒を足の甲のうら(裏)へ乃甲のよふにてむすびて又上へとりあけて足乃ワナニムスビヒ子リオシカフシ右左共に

寅五月十三日

夏春記

ムチノ一モリ



白木

古画ニモ下賤ノ者ハ月代ソリタルアリ此ノ絵ノ三ニカキラズ

ミセキヌ次ノ圖ニハ下ニテ出クアル

蘭笠

ヒタヒニカリ毛アリ

カナ物金柄サヤ共ニ朱ツバモキン

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

鎮西八郎為朝
矢押形

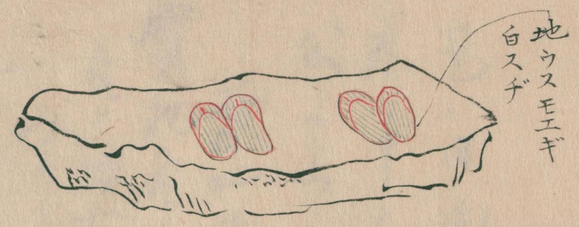
弓師三宅秘藏

寛政元年
八月十三日
松岡辰方写之

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

藩舎蔵書之印

志川の物語 二巻 古画



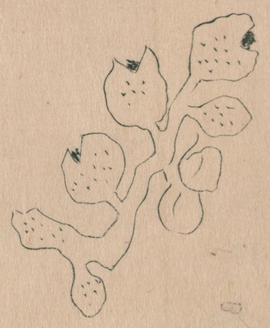
国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

古今集ニ

をがたまの木

をたまの木のよろづよ



是ハ日向國高千穂の峯ニ在り神代ヨリの本ニてあるよしにて頗ル主牧聖氏ヲ公ニよろしき一号のよし也

葉四季あり青木のごとく實初冬ニ至る

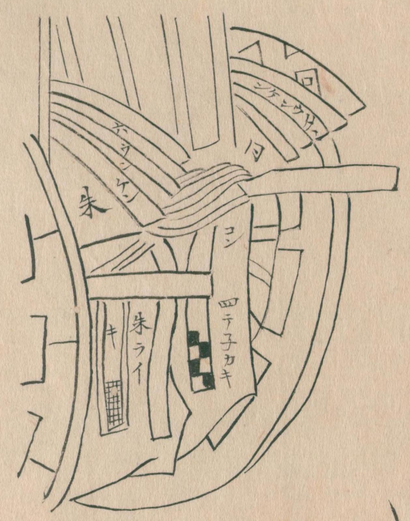
貞丈按古今和歌集巻十物名ニをがたまの木とよめる歌ハ此木ニハあらず此木ハ實ハ秋ニ至りて赤くなるなり古今伝授三木の一ツ也 友則が歌ハ春の木ニよめり後の人ハ此木ハ春ニ實ハ秋ニ赤くなるなどいふ事ハ此木ニ限りて外の事にいふ事ニハあらず

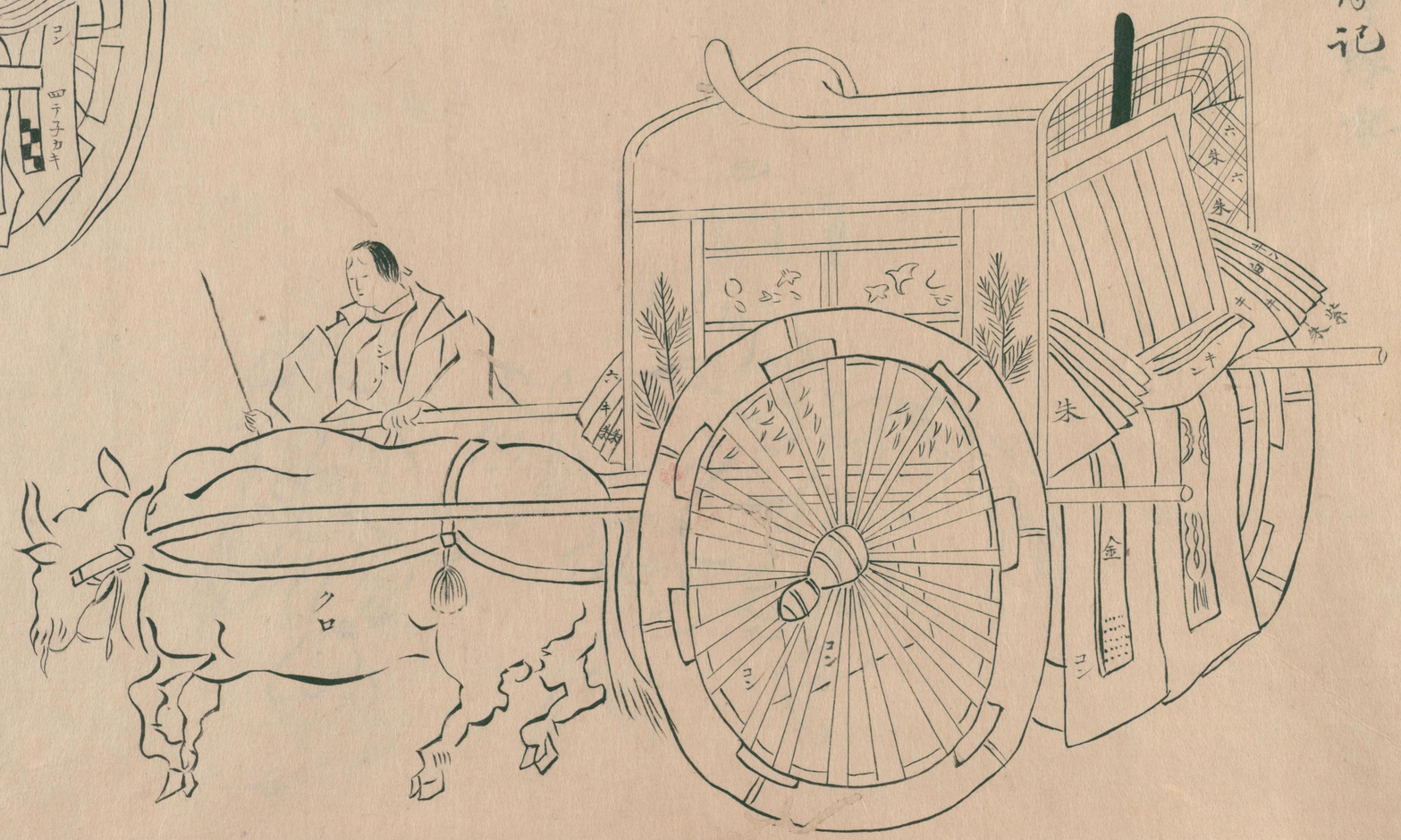
国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

石山寺縁記

地六 スミカキ





国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

石山寺縁記

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

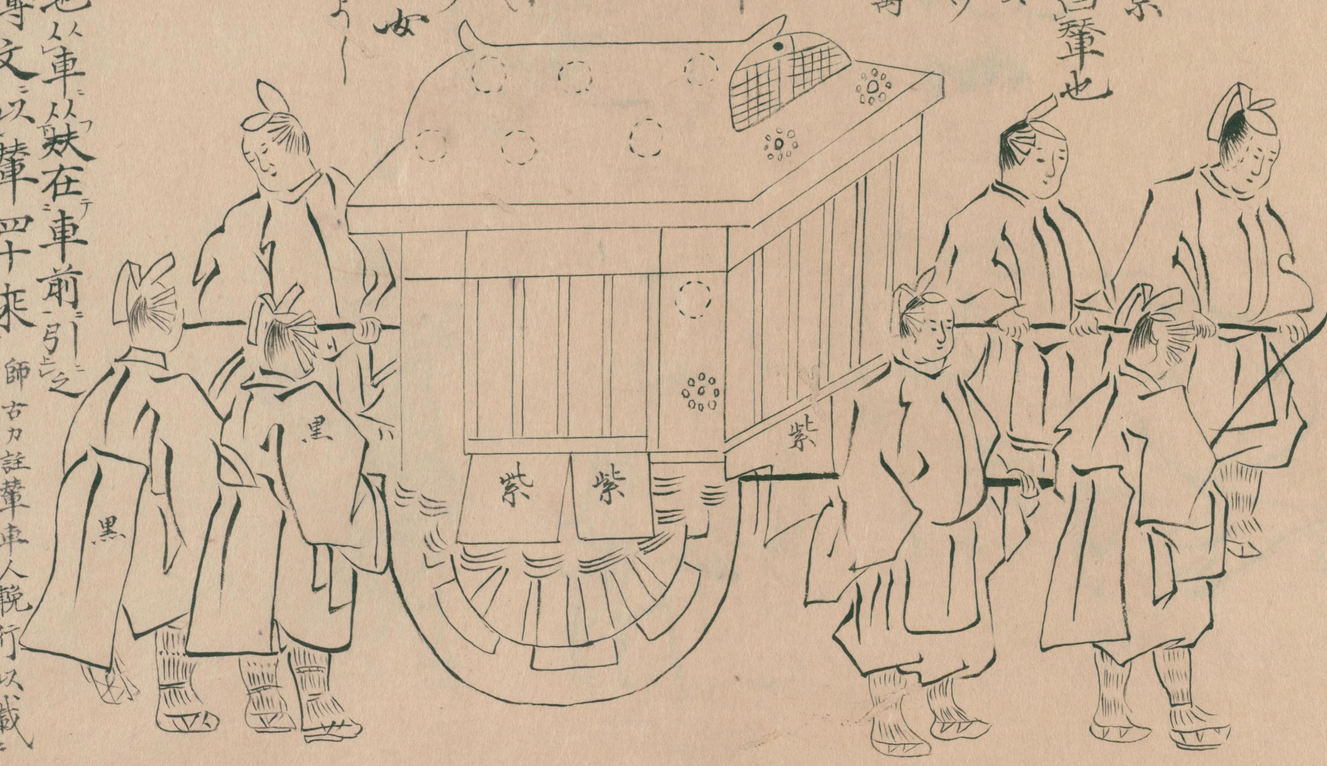
ガラス使用

此圖ハ石山緣起ノ圖ニテ廣橋殿所藏ナルヲ寛政九年ノ春駿岳先生上京ノ度寫畫ニテ歸府ノ砌余亦寫之上ノ題書ハ藤原忠寄君ノ御考ナリ是モ亦一ツニ寫置畢

寛政元年三月十三日

刑部源左檀子

石山緣起卷五 輦之圖



輦（レン）テグルマ 令義解卷一主殿寮輿輦ノ注ニ輦ケ行ヲ曰輿ガ輓（ヒキ）行ヲ曰輦也按ニ今ノ輦ハ車ナリ輓モノニアラズ石山寺緣起ノ繪ノ內ニ輦車ソキタルアリ

和名抄卷十車ノ部 輦（和名抄天久流萬）

註爲（ツクリ）輕輪ノ人挽所行也

年中行事歌合五十番輦車

爲邦朝臣ノ歌

[illegible]

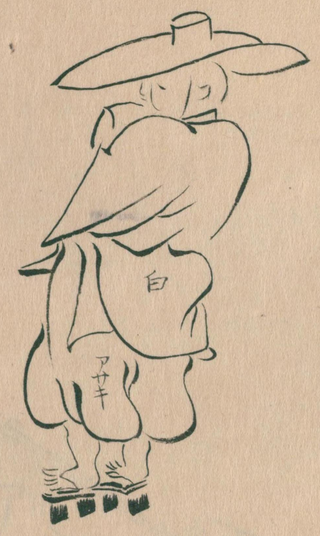
註てうまのとかハ輪をつけて輿のやうなるものをいふ車なり

[illegible]

源氏物語にも作るなり

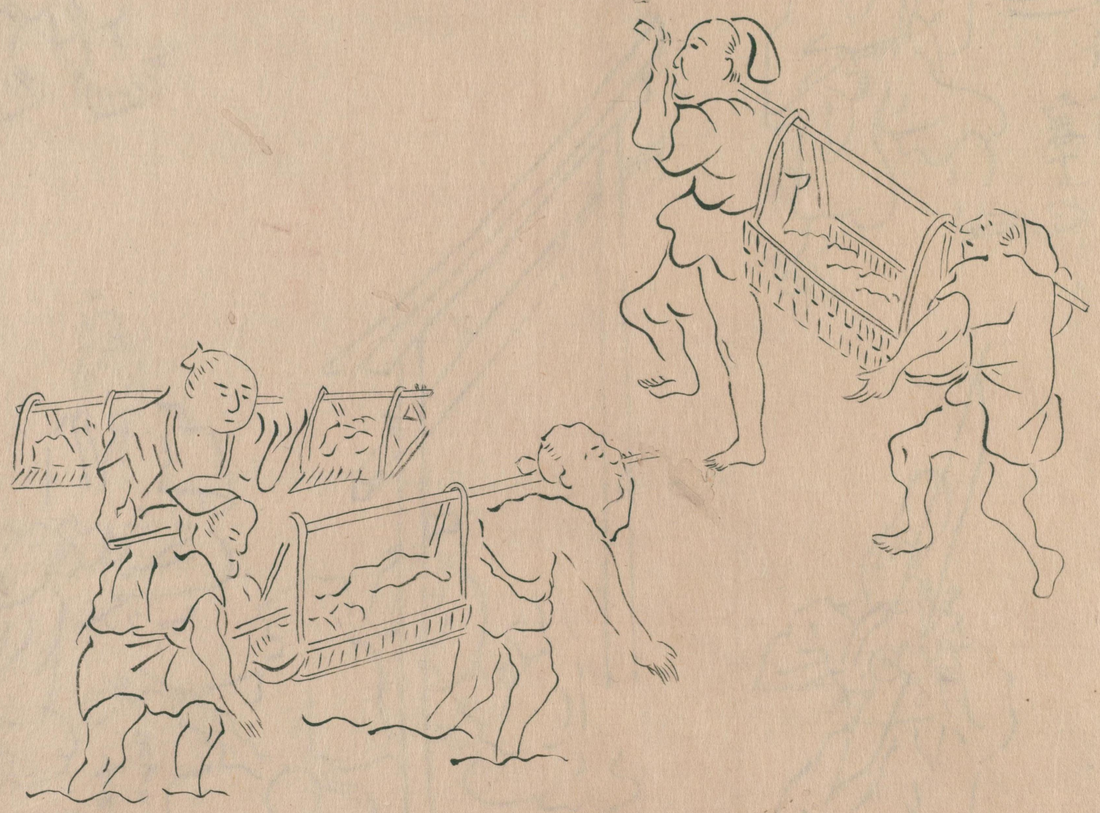
說文卷三輦ノ字註輓（トル）車也ト車ハ車（クルマ）ノ總名ニテ今在（アル）車前ニ引之漢書卷四十四淮南厲王ノ傳文ニ以輦四十乘（師古カ註輦車人輓行以載ニ兵器ナリ）和漢三才圖會卷卅三車駕部輦ノ條通典曰夏后氏代制輦商曰胡奴車周曰輜車殷曰蜃車ト制輦而不施輪ノ以人荷之此文ヲ以テ按ニ輦ハ車ヲツケズ日本ニテモ近世車ヲツケザルト物ナリ西土ニテハ殷ノ世ヨリ車ヲツケ見エタリ

年中行事印地打之巻校画



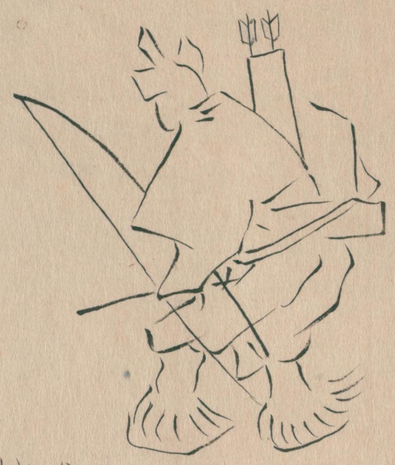
国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

誉田八幡縁起 アンヴ

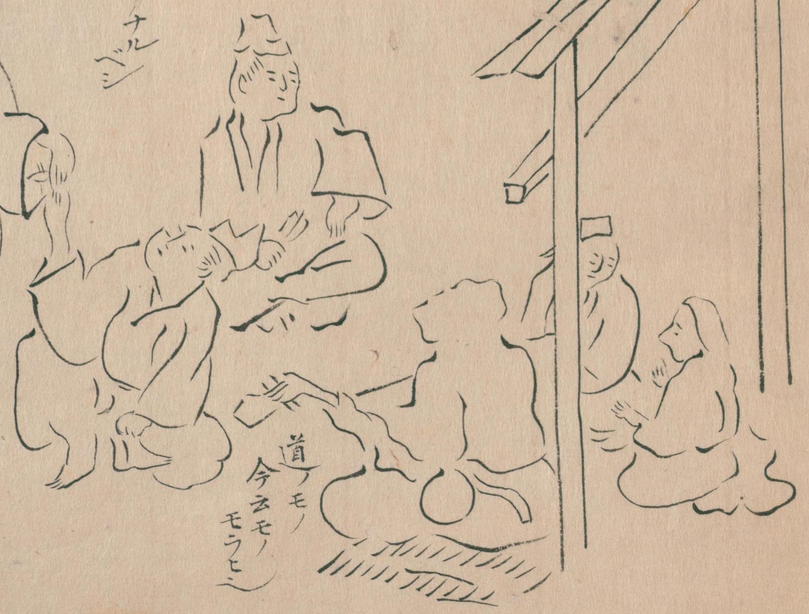


国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

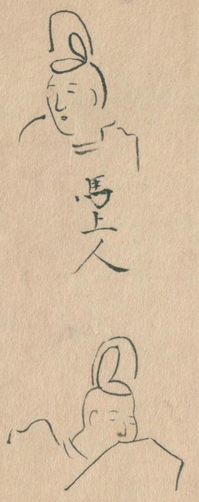


鮓ウリナルベシ



道ノモノ
今ヤモノ
モラヒニ

器實ハ二
黄土色
土器ナルベシ



旦上

馬上人

牛ヲ追フ人

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

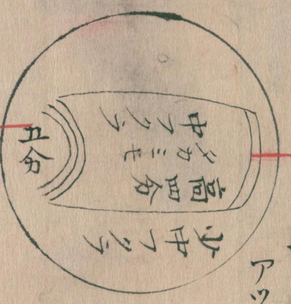
前ノツヾキ

鏡塩手　古物

厚サ　ハリンホド

押形如此

ヘリ　是ホド



モツチアリ

アツサ　五リン
ホト

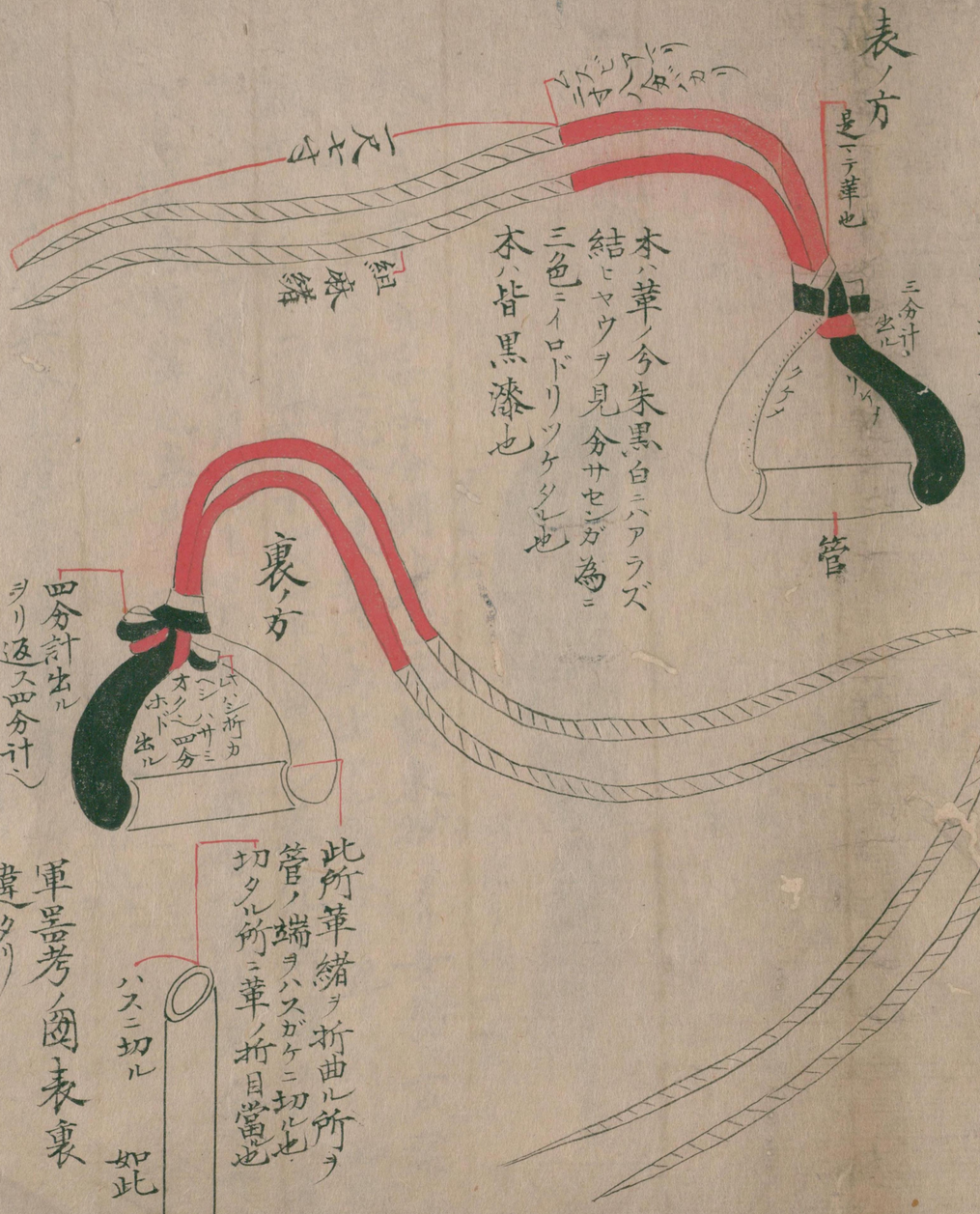
管ノ中ニテ端ヨリ
二分シサル

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

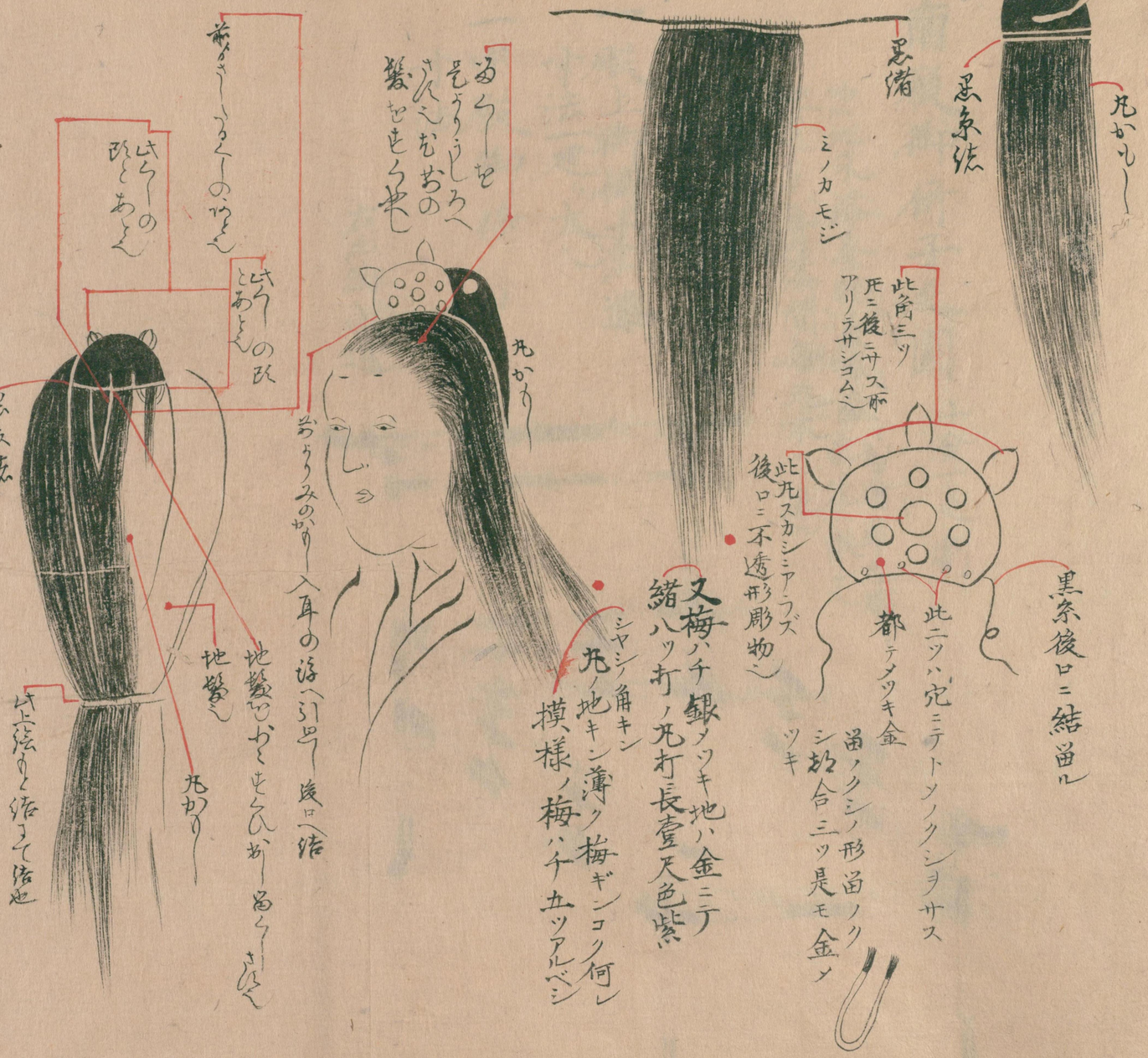
如此鏡ノ上ニナル方ヘ緒ヲ引寄セテ付ヘシ如此セザル時ハ鏡ウツムキ見苦キ也鏡ノ端ト緒ノ結メノ真中トノ間五分ホドスカスベシ鞘ニ仕付タル時ニ鏡ノウツムカヌタメニ緒ヲ上ノ方ヘツリ上テ付ルナリ

管径三分真鍮



国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

848
96


黒糸後ロニ結留ル
凡かもし
黒糸絖
黒繻子
ミノカモジ
此角三ツ共ニ後ニサス所アリテサシコム
此凡スカシアラズ後ロニ不透彫物ノ
此三ツハ穴ニテトノクシヲサス
都テメツキ金
留ノクシノ形留ノクシ処合三ツ是モ金メツキ
又梅ハチ銀メツキ地ハ金ニテ
緒八ツ打ノ凡打長壹尺色紫
シャシノ角キン
凡ノ地キン薄ク梅ギンコク何レ
模様ノ梅ハチ五ツアルベシ
髪ざしうるしのかた
うるしのかた
うるしのかた
地髪ひきそろへ留ノさし様
地髪
凡かもし
黒糸絖
耳の後ハ引戻シ後ロへ結
地髪ひきそろへ留ノさし様
凡かもし
地髪
凡かもし
髪ざしうるしのかた
うるしのかた
うるしのかた
地髪ひきそろへ留ノさし様
凡かもし
地髪
凡かもし
黒糸絖

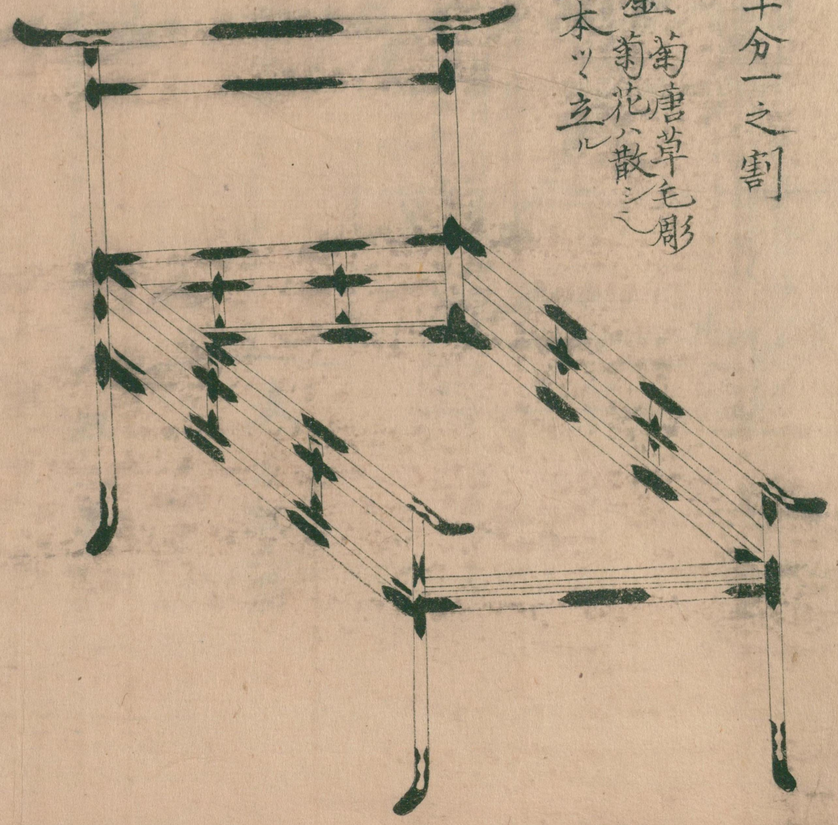
南殿御倚子之圖　十分一之割

惣地朱漆金物金滅金　菊唐草毛彫
腰之スカシ青漆間毎九本ツヽ立ル菊花ハ散シこ
御疊雲繝　行事官調進

一殿上御倚子黒漆
寸法一廻リ大ヽ

一中殿御倚子
寸法

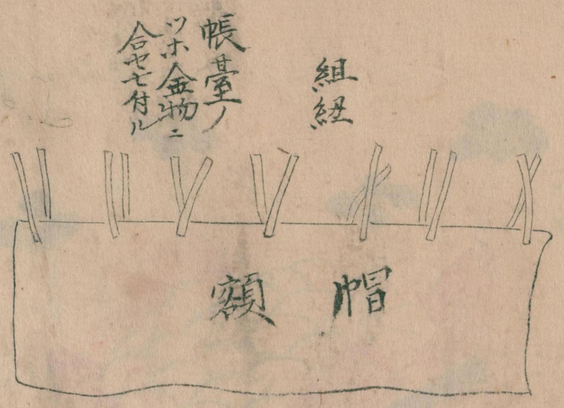
右出納調進

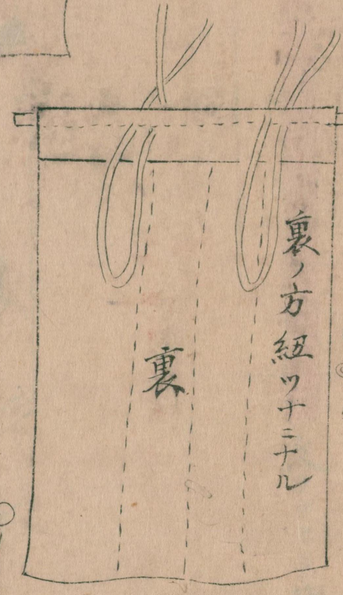


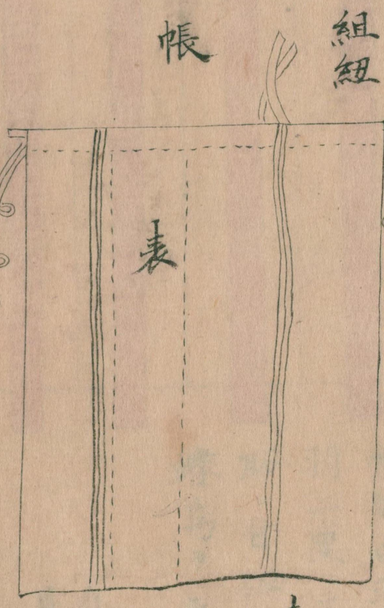
国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

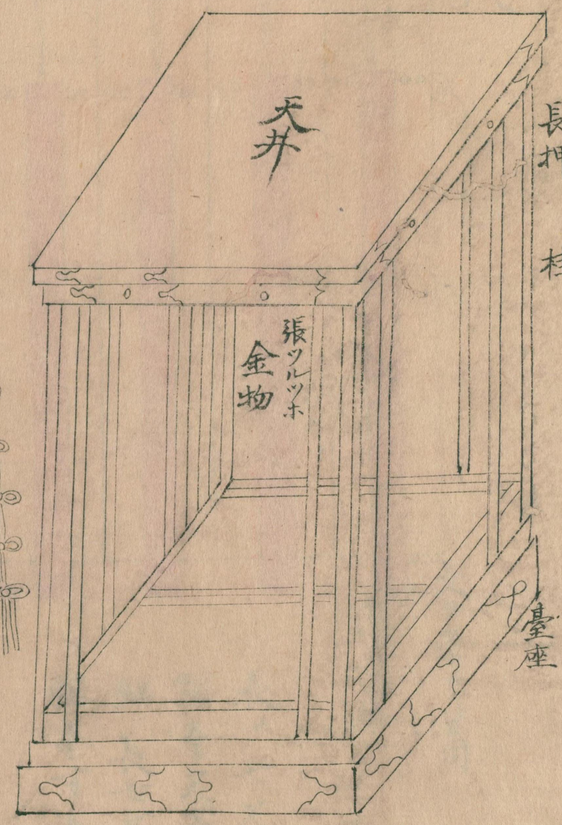
ガラス使用

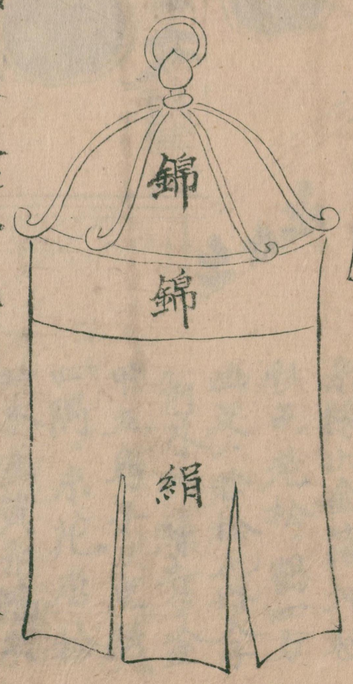
帳臺圖







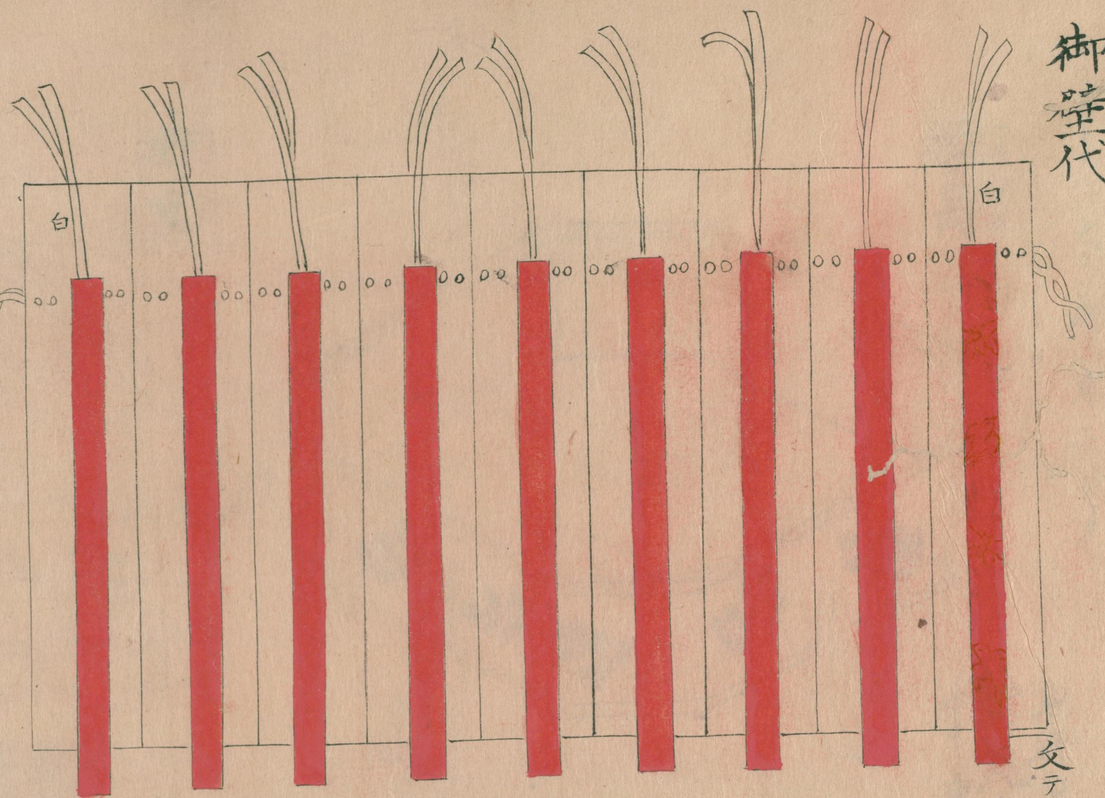




骨ハ白木、或ハ黒漆ニ塗ル八角也ワラビ手アリ上ハ大和錦ニテ張水引モ錦也毎ハ絹也蓋ノ裏ニ鏡ヲ付ル鏡面下ヲテラス夏々差別ナシ

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

御壁代



長サ七尺三寸
幅壱尺壱寸仕立上ケ但シ一流ニテ
紐ノ長七尺六寸五分
幅壱寸五分各鯨尺也

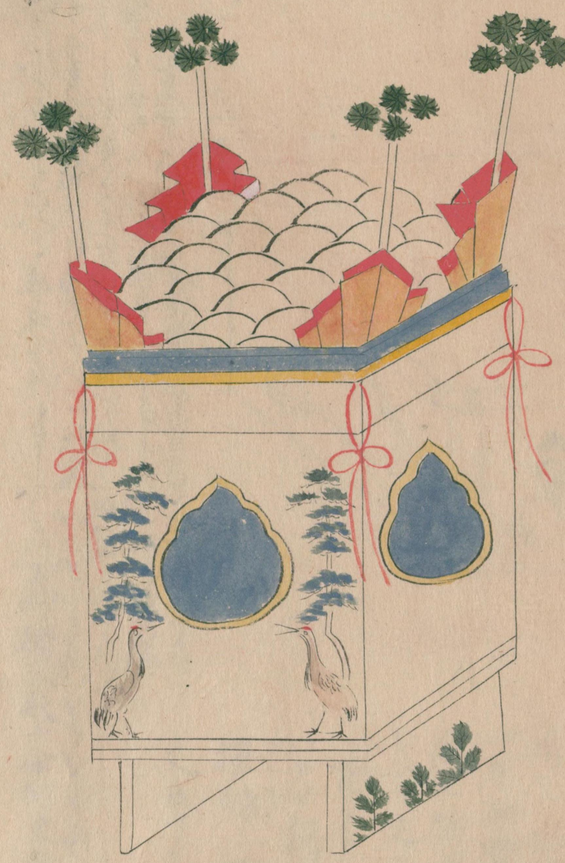
惣躰白羽二重ニテ裕縫同紫
羽二重ニテクケ紐裏表共同
断ニ甘但シ繪図之通白繪之
蝶鳥ヲ画緞子練緑縷糸也

文テウトリ皆同

貞丈云カベシロ古書ニ
見エタリ

文テウトリ皆同

折櫃（ヲリウヅ）

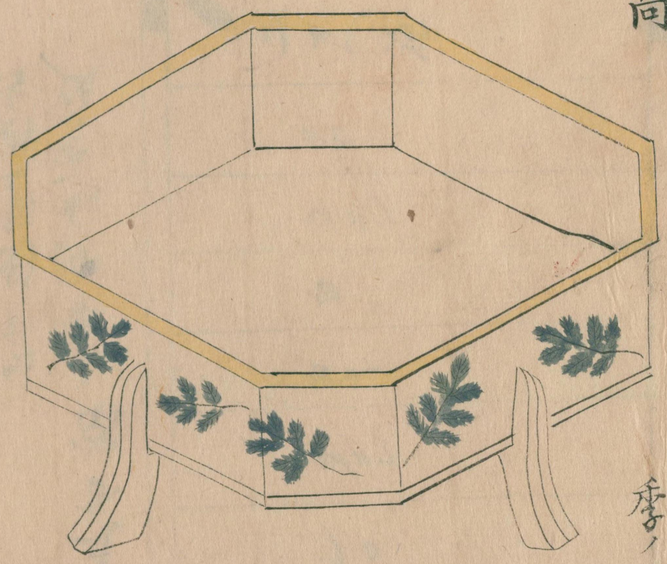


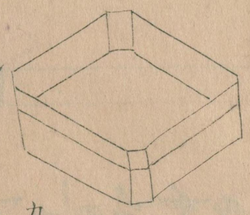
惣躰白塗雲母引
四方繰穴ノ繰上ノ小口
糸縁ホ金箔押極
彩色老松ニ鶴四方
画足ハ若松也内入子
内外共緑青ヲ塗
甲立鳥子ノ重紙
四隅ニ糸花唐松
四本立黄赤綿糸
二筋ヲ以総角

貞丈云ヲリウヅ
古書ニ見タリ

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

縁高（フチダカ）





縁金ハ俗ニやらう金ト云
此図ハやうのごとくべし　中の細ハ
その今少し狭き器ハ皆此ごとくなり
カッノトアルハ大なる物の時そなふ

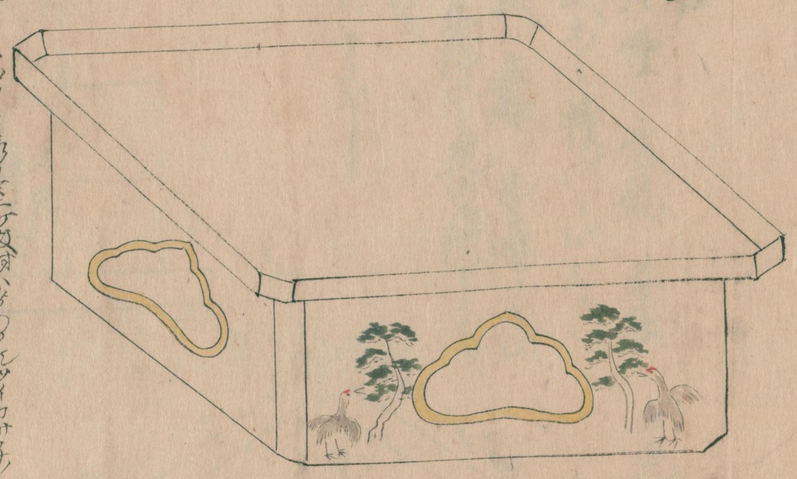
惣体白塗雲母引上ノ縁金箔押
四方足共極彩色根引ノ松ノ画但シ四
季ノ童子ニテ折居入ル也

負文云縁高ノ名古書ニハ
見ズ地下ニ用ルハ形左ノ如シ

カワラケ

是ハフチタカノ折敷也
上ノ図ハ何フチヲ高クシタルモノニヤ

衝重

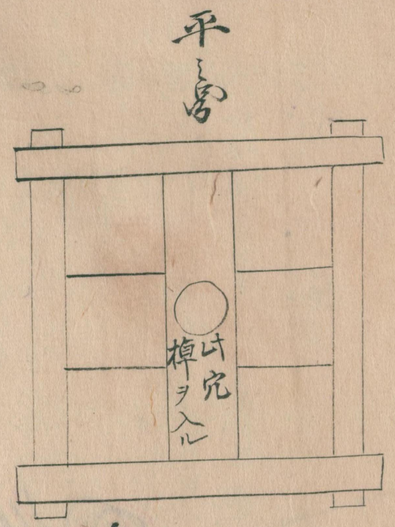


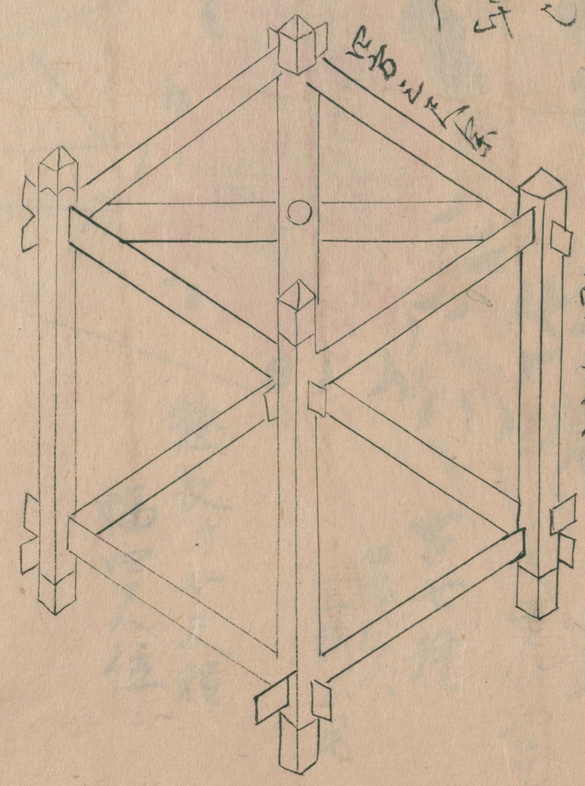
但シ方言ニ而ハ折ノ事歟ヲカシイカサナド云ヘリ
衝重ハ膳ニテ多クハ蓋ニテ蓋ヲ以テ食ヲ盛
蓋ニモ食ノ居ル折敷ノ如キ物ニテ
四方ニ付ル也

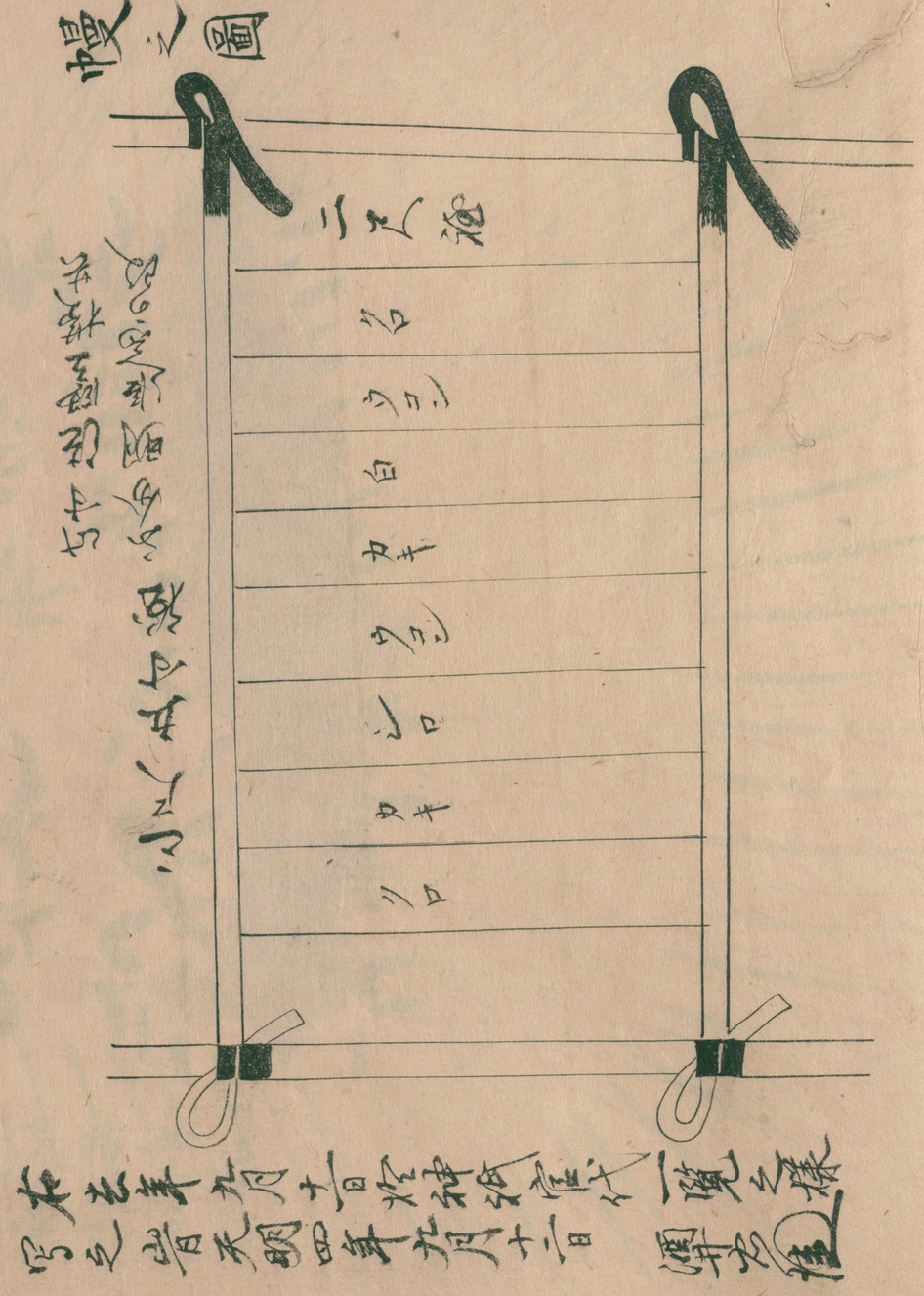
惣体白塗雲母引ニノ足ノ四方
極彩色ニテ老松ニ鶴絵等ノ通

負文云是ノミヲ衝重ト心
得ルハ誤也　衝重ト云ル三方
四方供膳等ノ惣名也此絵
図モ衝重ノ類ノ物也上ノ盤
ト下ノ足トヲ衝キ重ネタル物
ノ惣名ヲツイガサネ子ト云衝
ハタダ詞ニテ衝ネ子細ノ義ナシ
掻練（カイネリ）ノ掻ニ同ジ類ノ詞也
又云ツイカサネ子古書ニ見タリ

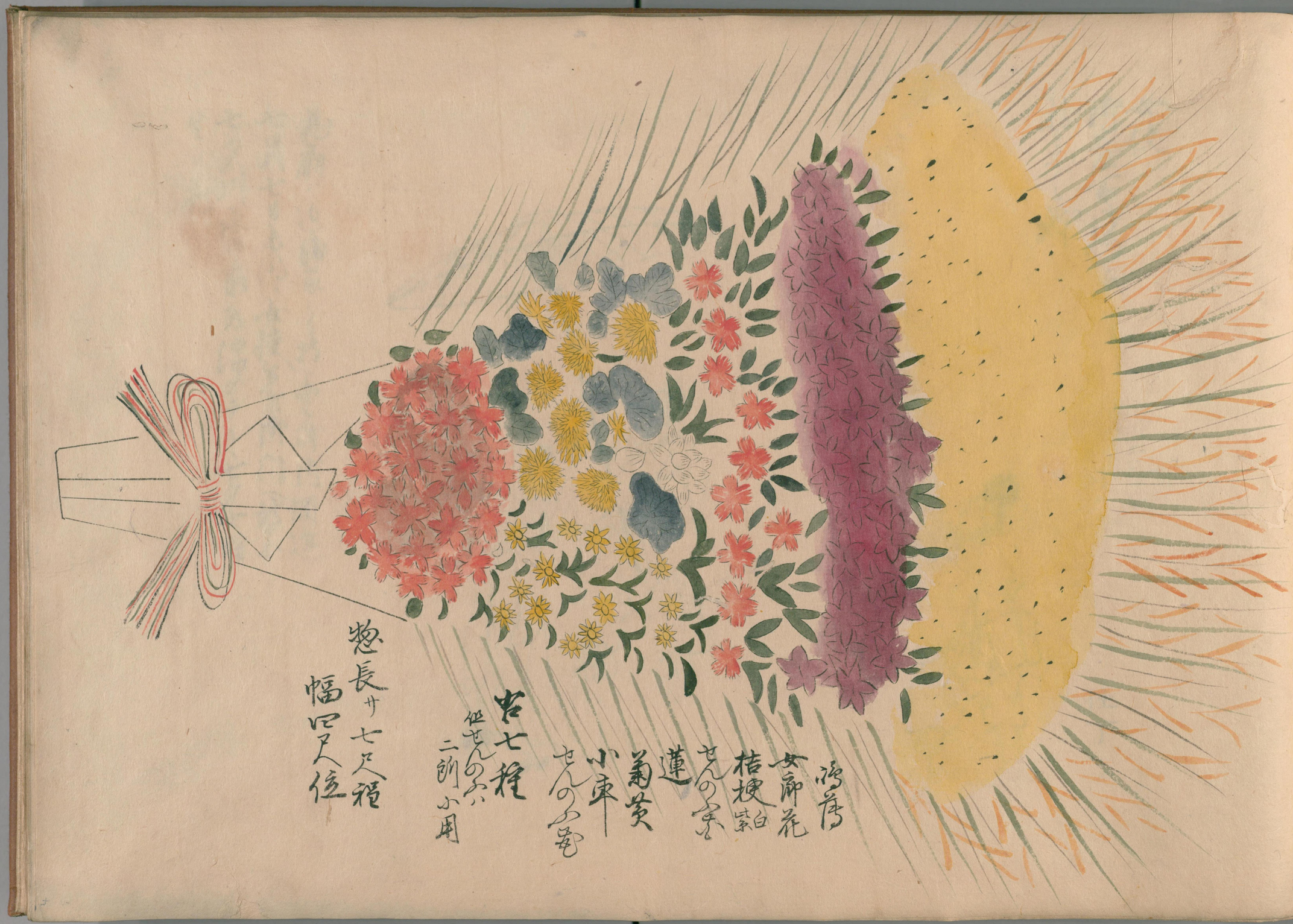
国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用







国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

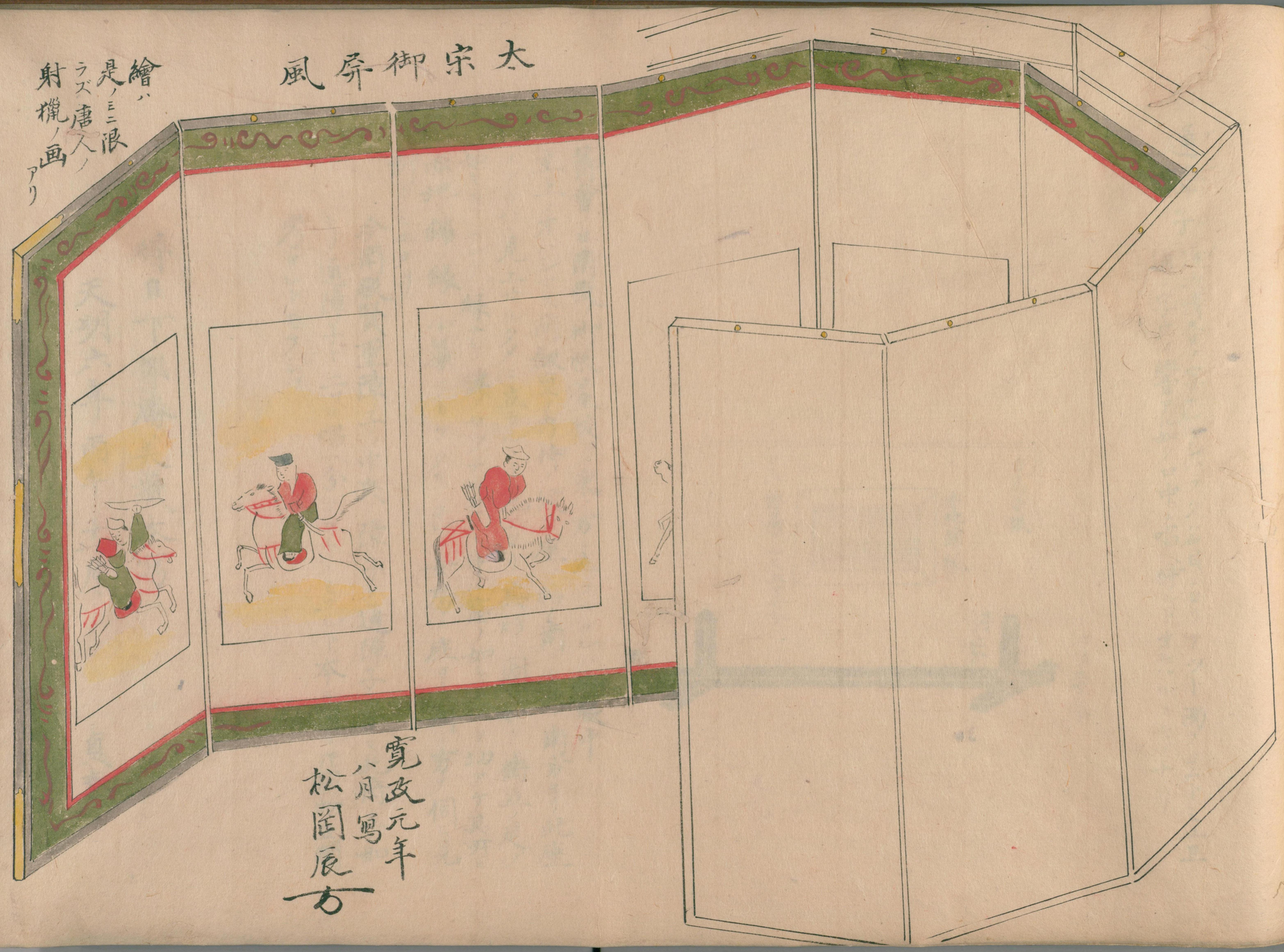
女使
御堂前ヨリ
持来ル所

仕丁

花扇ハ辻堂ヨリ持来ル所
七月七日未明ヨリ女使ヲ御門ヘ持来
七夕川水ニ象テ浮メラル、七夕七種
生ノ花

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

太宗御屏風



繪ハ是ノミニ限ラズ唐人ノ射機ノ画アリ

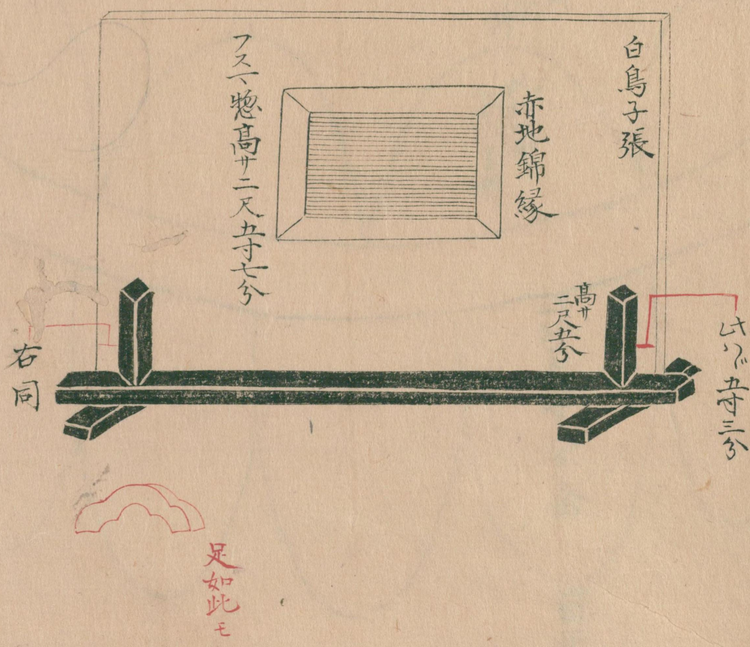
寛政元年八月寫
松岡辰方

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

通障子（ツウシヤウジ）

通（ツウ）次清音ノ字ナレドモシハラク名目ニヨリテツト濁テヨムトニユ旦通ノ字ウノ響アル如クロ中ニ唱ヘ侍ルトオモハル、モノナリ



節會ノ日南殿ノ御帳臺後ロノ東ノ方ニ立ラルコレハ御帳中主上ノオハシマス間劔璽ノ内侍ノ候フ座ノ帖ノ南ニタテ、南方ヨリ此座ノアラハニ見エサルタメニ立ラル、ト見エタリ其形ハ屏風ノ如ク衝立ノ足ノ如キモノニシテ縁ナキ襖ノヤウナルモノ、中ニ窓ノ如キモノヲ切アケ其所ニ赤地ノ錦ノ縁ノ小簾ヲカケタリコレハ女房ノ座ヨリ南ノ方ヲ伺ヒ見所トミエタリ

今南殿賢聖障子ノ中央ノ障子ヲ通障子トイヒ此衝立ノ如キヲ通障子ト二ツニ唱ヘ分ツコト、ミユレト本ニ阿レハ同物歟猶考アレトモラシツ

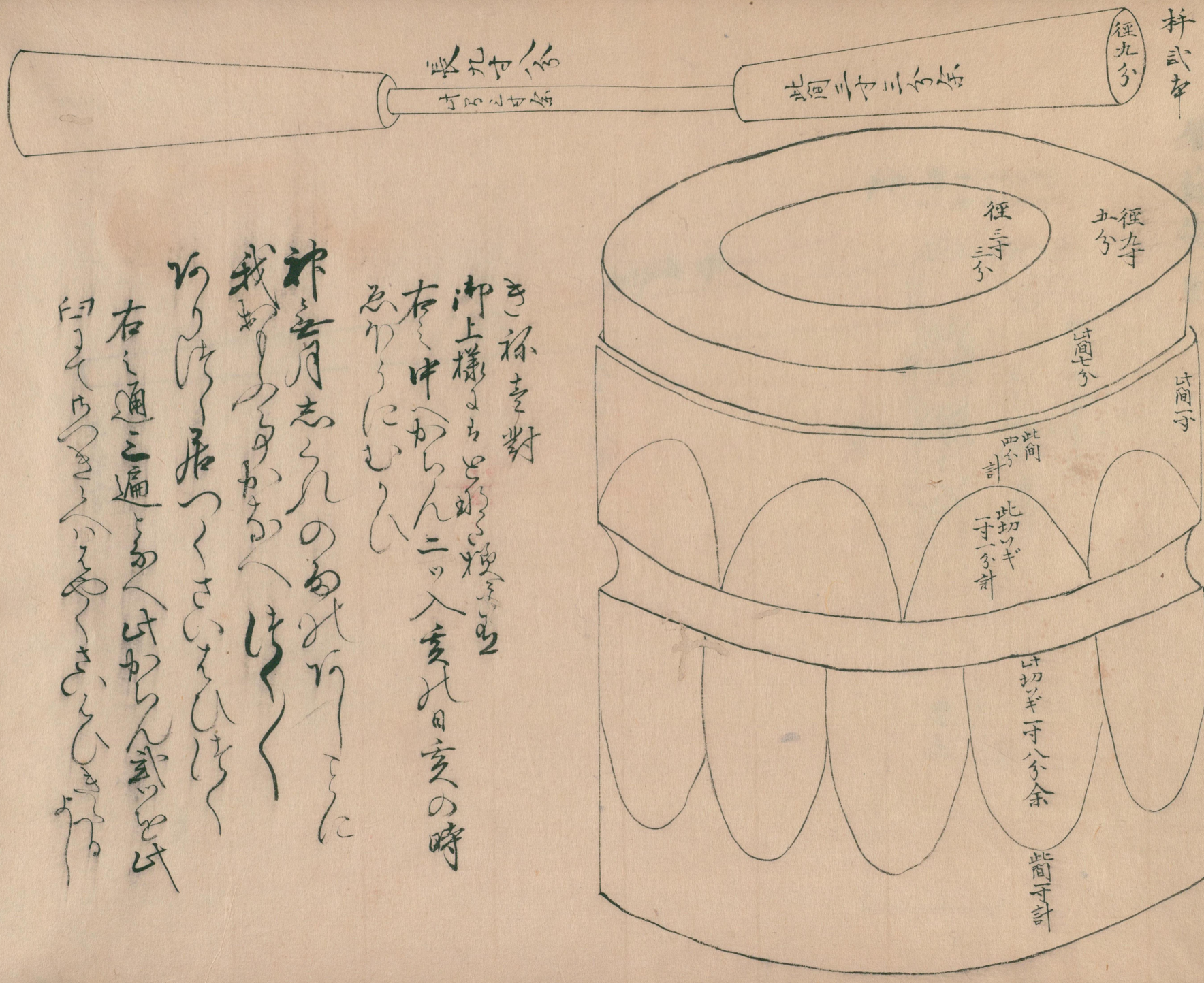
得日下部勝美藏本寫

天明六年丙午十一月

貞春

亥のこれ神白杯の号

杆弐本

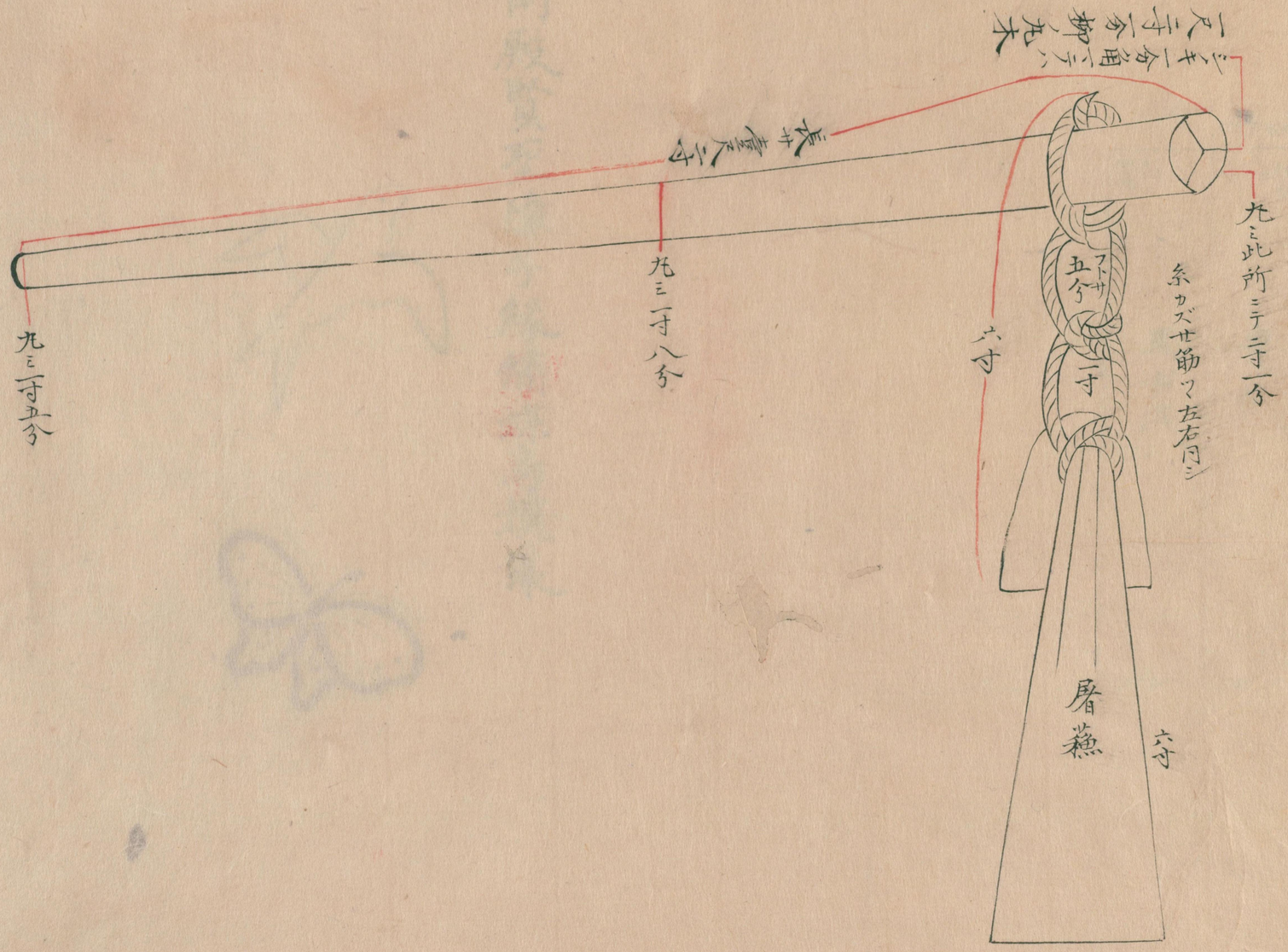


き称き對
御上様よりとゐる
右ゝ中からん二ツ入
ゐりにむし

神亥月志これの
我あるかなく
ゐりけく居つく
右ゝ通ゝ遍とゐ
ゐてそゐきゝ

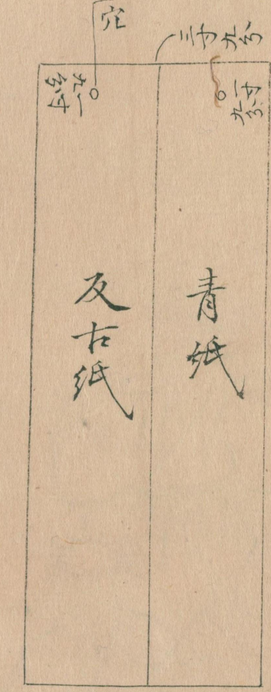
国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

今大路家 屠蘇袋圖



国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

江田氏傳来歌巻寸法



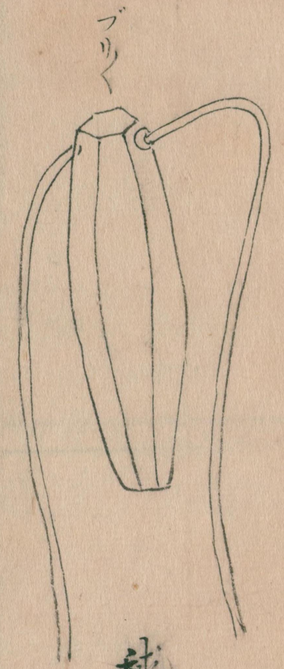
長金尺壱尺二寸五分

次手かり三分五ツおりひも水引

南殿賢聖障子縁繍蝶鳥摸様

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用



越杖

古義長

古弦ニアリ

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

和州吉野郡和田村民家藏乳付旗圖

別ニ長キ乳付旗并手長旗有之軍器考圖式ニ見ヘリ

長三尺壹寸三分強 朱圓徑六寸八分

上ヨリ朱圓ノ端ニテ壹尺一寸八分

乳長壹寸九分是ニ折ル長サ也廣二分

乳

長サ

廣サ

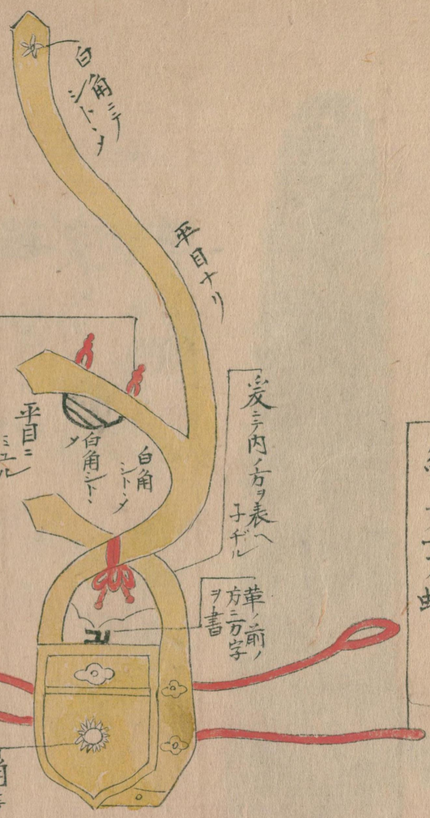
上ニ同シ

處々血點有之

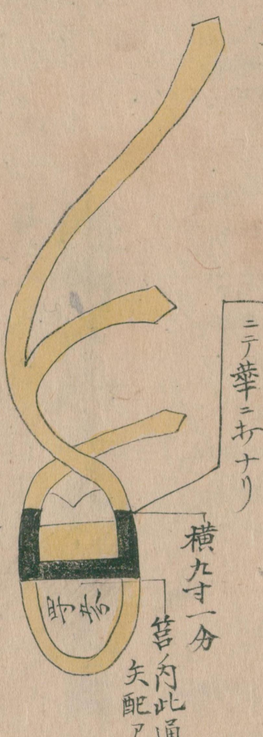
明和六己丑五月十八日新井源太郎邦孝之所藏紙形ヲ以テ寫之

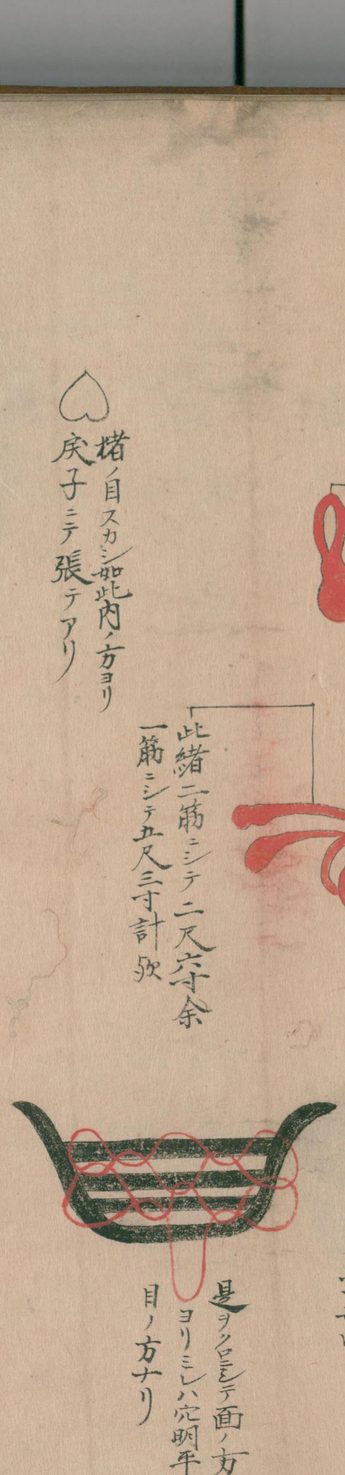
伊勢平藏貞丈書

薩摩箙之圖



貞丈云俗ニ傳テ云此箙ハ薩摩守平忠度討死ノ時短冊ヲ付ラレシ箙ノ形也トテ薩摩箙トモ忠度箙トモ短冊箙トモ云然レ共正シキ證ナシ古画合戦ノ図ニ如此ノ箙負タル画ハ曽テ見エス疑ラクハ近代ノ製ナルベシ武用辨略ト云近世ノ書ニモ此箙ノ図ヲ出シタリ





国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96
ガラス使用

空穂異製圖

此圖正面ノ形也

此圖後三年合戰繪ニ見タリ彼繪ノ中常ノ空穂ニ常ノ如ク矢ヲ挾タル圖有リ其中ニ右ノ異製衣一ツ見タリ

此圖側形也

此圖法然上人行狀畫圖ニ見エタリ

安永二年癸巳三月十七日

伊勢平藏貞丈模印

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

848
96

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『故実図集 2巻』 請求記号 848-96

ガラス使用